

あきしま市

自治連会報

特集：拡げよう！「ごきんじょ（互近助）カード」

■発行者
宮田次朗

■編集
昭島市自治会連合会
広報委員会
昭島市田中町1-17-1
昭島市役所内
TEL 544-5111

1.1

平成28年
(2016年)

迎春



平成27年度・自治会長交流会 於：フォレスト・イン昭和館

人と人のコミュニケーションを深め、ふれあいと思いやりのある街づくりのために、“あいさつの輪”を広げよう

あいさつは顔見て目を見て心(ハート)見て

(昭島市・昭島市青少年問題協議会 あいさつ運動推進標語)



年頭に当たって

昭島市自治会連合会
会長 宮田 次朗

明けましておめでとうございます。
本年が皆様にとって良い年であるこ
とを祈念してご挨拶申し上げます。

昭島市はここ数十年で住宅や多くのマンションが建設され、新旧住民が混ざり住むまちとなり、昭島駅北口の昭和の森エリアの開発、間もなく完成する拝島駅南口周辺整備、これから始まる東中神駅北口の大規模開発等、街並みも大きく変わっていきます。

その中で、少子高齢化時代における地域コミュニティの役割が、マスコミ等でも話題になっている昨今、自治会の存在意義を問われていると思います。

5年前の東日本大震災以降、地域の結びつきが見直されてきました。昭島市自治会連合会としても、お互い近くで助け合う社会を目指すと共に、自治会員への

サービスと地域の活性化と絆づくりの一助となればとの思いで、昨年の4月に自治会会員の世帯に「ごきんじょ(互近助)カード」〔下図〕を配布させていただきました。現在、80の協力店のご厚意で、利用時にサービスが受けられる特典制度を開始しております。

本年も、自治会連合会として自治会の皆様と連携し「自治会員の声が届く自治会」に、「自治会員の声を活かす自治会」を目指し、昭島市と連携を密に、協働の対話を展開してまいりますので、自治会活動へのご理解とご協力を宜しくお願いいたします。



特集：拡げよう！「ごきんじょ(互近助)カード」

特集

互近助 = お互いに近くで助け合いましょう

拓げよう！ ごきんじよカード



- 昨年4月、昭島市内自治会連合会に加盟している自治会の皆様に会員特典制度付きの自治会会員証「ごきんじょ(互近助)カード」を家庭に1枚、地元の自治会を通してお届けしました。

- 「ごきんじょ(互近助)カード」の目的は、

※自治会員へのサービス
※地域の活性化と絆づくり

です！

- この会員特典制度は、昭島市内を中心に協力店のご厚意で開始出来ました。協力店舗を利用の際、「ごきんじょカード」を提示することによって各種サービスが受けられます。サービス内容は、お配りしました協力店一覧〔第2版〕(平成27年8月発行)または、昭島市自治会連合会のホームページでご確認ねがいます。当初67店舗で開始した協力店は、お陰様で、現在は80店舗を超えております。(第3次協力店募集中~3月15日)

- 「ごきんじょカード」が防災の日の9月1日NHK(2ch)先人たちの底力で約1分半、防災アドバイザーの山村武彦氏から紹介していただきました。

- 自治会員の皆様！「ごきんじょカード」を持参し協力店を利用しましょう。目印は“黄色ののぼり(左図)”です。協力店一覧を失くした方は地元の役員にお尋ねください。「ごきんじょカード」も再発行できます。

※新規協力店の紹介や、カード等についてのお問い合わせ先 →TEL：070-1248-6075

平成27年度自治会長交流会／活発に実施！

＜4名の元気な自治会長から活動報告がありました＞



市内にある自治会の
掲示板を市と連携し
新設24基、板面交
換32基を行いました

○○自治会掲示板

平成27年12月5日(土)に昭和館にて実施しました。第一部は「自治会館の活用で、地域が元気！(多良 昭文自治会長)」、「広報活動で、地域が元気！(鳥生 郷地玉川自治会長)」、「センター制度と互近助ネットで地域が元気！(横山 つつじが丘北自治会長)」、「地元商店街と連携し75%維持！(橋本 昭島駅前上友自治会長)」の皆様から今後の活動のヒントになる報告会となりました。

その後、外の庭園で北川市長や来賓の皆様との記念撮影(本紙表紙の集合写真)を撮りました。

第二部は自治会長の皆様と、市長をはじめ昭島市や関係団体の皆様との交流の場となりました。

特集：拡げよう！「ごきんじょ(互近助)カード」

2年目となりました“地域の課題”を行政と話し合う「エリア別ミーティング」を3つの中学校区で実施しました。あの校区は28年度開催予定です。行政からは、市長、副市長、教育長、該当の部長等に出席いただき、該当エリア内の自治会長が集い実施されました。自治会から各種の地域課題を提示し、活発な意見交換がなされました。

市長からも「各地域の実情を知り、地域の問題に対し真摯に向き合い有意義な意見交換をしてまいりたい」との挨拶をいただきました。昭島市から一定の理解を得ながら、基本的な考え方が示されました。



●● エリア別ミーティングで“地域の課題”を話し合う ●●

拝島中学校区<第10.11.12.13.18ブロック> 緑会館（7月14日）



- ・林ノ上公園への防犯カメラの設置について
- ・玉川上水北側道路の交通安全問題について
- ・拝島第二小付近の交通安全対策について
- ・横田基地オスプレイの騒音、安全性問題
- ・昭島駅西側踏切の現状と改善について
- ・アウトドア施設利用車増大に伴う迂回路等の案内板設置要望について
- ・八高線ガード下拡幅及び市道昭島31号の歩道整備について

昭和中学校区<第1.2.3.4ブロック>



昭和中学体育館（7月21日）

- ・自治会加入の条例化について
- ・東町地区に公民館設置のお願い
- ・市民球場南側の昭和公園の活用について
- ・立川基地跡昭島地区の工事進捗状況と予定
- ・西立川駅周辺の活性化計画について
- ・都道153号線に対する要望について
- ・都道59号線八王子～武蔵村山線の防護柵設置について
- ・高層住宅の避難法と安全対策について

瑞雲中学校区<第15.17.19.20ブロック> 武蔵野会館（7月28日）



- ・「教育福祉総合センター(仮称)」について
- ・「交通環境検討委員会」の設置について
- ・青梅線北側への交番の設置要望について
- ・コミュニティ協議会の活動拠点について
- ・自治会集会施設の設置要望について
- ・災害時要援護者の避難場所について
- ・空き家対策について
- ・立川基地跡昭島地区開発の進捗状況について
- ・投票所の一部地域変更について

特集：拡げよう！「ごきんじょ(互近助)カード」



平成27年11月10日・市民ホールにて

【会長挨拶】

昭島市と自治会連合会とで進めています「地域力向上委員会」や「避難所運営委員会」等、この会で協議した多くのことが形となってきました。



昭島市内の自治会への加入の促進と今後の自治会の活動が益々元気になり、昭島市を目指す“住み続けたいまち”から“住んでみたいまち”への魅力ある昭島になっていく為に、昭島市との協働作業の対話を今後とも継続しをお願いいたします。

【総務委員会】

①「コミュニティ推進員制度」の新設について

地域の安全安心のための課題の解決に、昭島市と連携を取って日常的に活動している自治会長、ブロック長の皆様の“その地域内”での立場を明確にしていただくために、まず、市長からの「コミュニティ推進員」の委嘱制度の実施を提案したい。

《市民部》「コミュニティ推進員」制度については、自治会と共に検討する意味で、次回(1月予定)の地域力向上委員会で、協議していきたい。

②会員特典制度への昭島市の協力について

27年4月に自治会員の世帯に“ごきんじょカード”を配布させていただき、現在80の協力店のご厚意で利用時に特典サービスが受けれる特典制度が開始しております。

昭島市として最大の協働パートナーの自治会に対して、具体的に昭島市の関連のサービスを自治会員に対して提供をお考え願いたい。



《生涯学習部》一例として、市民会館文化事業協会が主催するイベントの入場券について提案していただきました。販売方法等を検討していきたい。

③今後の昭島市のコミュニティ構想について

平成17年に「昭島市コミュニティ構想」が制定されましたが、構想の内容の見直しの予定と、昭島市として、市民が“まちづくりの主役”と言われていますが、具体的に自治会を含め、地域コミュニティの将来構想について、どのように考えているのか、ご提示いただきたい。



《市民部》制定後10年が経過して、社会情勢も変化してきてるので見直しが必要と認識しています。現在昭島市内には3つのコミュニティ協議会があり、今後の地域割りやコンセンサスも含めて検討したい。

【事業委員会】

①昭島市と共に未加入地域対策の取組みについて

市内にいくつかのまとまった未加入地域があります。各自治会でも“自治会員加入促進活動”に取り組んでいます。そこで、加入者ゼロのマンションや自治会と自治会の狭間で長期間に未加入となっている地域を再調査し、その地域に対して具体的に、昭島市と協働で加入促進活動を展開して行きたいがどうでしょうか。



《市民部》西武立川駅南側の更なる開発や、数年後には立川基地跡の東中神駅北側地域にもマンションが予定されており建設前の自治会加入の依頼を行い、現在の未加入地域をはじめ防災防犯の面でも自治会と共に、推進活動をやっていきたい。

②マンション管理組合との交流会について

昭島市はマンションを含む集合住宅が全世帯の6割以上とお聞きしております。また毎年市内の各所にマンションが建設されています。

平成28年度に、マンションの管理組合役員との「昭島市（行政）と地域とのかかわり、地域や自治会のこと」等を伝える交流の場を、昭島市と自治会連合会で共同開催を提案します。



《市民部》自治会と地域内のマンション管理組合相互の連携と安全安心の構築へ、事務局職員を派遣するなど、出来得る支援を行っていきたい。

特集：拡げよう！「ごきんじょ(互近助)カード」

【防災委員会】

①防災無線が聞きづらいので対策について

無線が「地形や建物の関係で聞きづらい」、「夜間の発声が不明確で聞きづらい」との声が、多くの自治会員からも寄せられています。市として今後の具体的な対策を教えていただきたい。



《総務部》現在市内に64か所設置しています。平成29年度から3年間で機能向上（デジタル化等）の設備に取替えを予定しています。

②学校別避難所運営委員会の運営について

いよいよ学校別に“昭島市・学校・地域”での運営委員会が組織化される段取りとなりました。

今後、その単位での避難所運営の訓練が計画されます。その際の支援体制並びに予算をどのように想定しているかお聞きしたい。

《総務部》準備委員会で作成されたマニュアルに基づき、学校別に訓練等フィールドバックし応援していきたい。また予算も検討してまいります。

③スタンドパイプの設置場所について

いざの時、住民が初期消火活動で使用できるスタンドパイプを自治会（自主防災組織）へ貸与が始まり3年目。各自治会は設置場所で苦戦しています。

自治会内や近隣の「学校の防災倉庫」や「市立会館等」の中への格納を検討いただきたい。

《総務部》具体的に、自治会（自主防災組織）から格納場所の提案をいただけましたら、それぞれの管理者と協議し、前向きに検討したい。

【広報委員会】

①「市の広報」への地縁組織の情報掲載について



昭島市が実施している『市民意識調査の地域活動』でも、なぜ地域活動しないかの質問に「参加するきっかけが得られない」「団体や活動内容に関する情報がない」の回答が合わせて50%です。

昭島市内全世帯に配布される「広報あきしま」に自治会をはじめ地縁組織の情報掲載をお願いしたい。防災訓練の開催情報をはじめ、自治会や地縁組織が地域住民のために計画している安全安心の取組みの情報を是非「広報あきしま」に掲載しやすい仕組みを検討していただきたい。

《企画部》自治会や地縁組織の活動について特に地域住民の安全安心の取組情報については、より効果的な広報を検討していきたい。

②「市の広報」への自治会の特集ページのお願い

他市では市の広報のページ単位や多くの紙面を使って自治会の必要性や活動を掲載し市民に周知しています。毎回単一自治会を紹介している市もあります。是非「広報あきしま」に、自治会加入推進期間と連動した特集ページを掲載いただき、自治会への最大なる追い風をお願いしたい。

《企画部》市政の情報伝達手段では「広報あきしま」が最大の武器である。自治会の現状、自治連を中心とした取組を市民の皆様へ感じていただく観点から、広報でこれまで以上の取組が必要と認識している。



③自治会掲示板用のポスターのサイズのお願い

昭島市をはじめ、各種団体から自治会掲示板への掲示の依頼の大きさをA3サイズまでとしていただきたい。回覧と掲示板への依頼は所定の申請書を提出していただく仕組みを提案したい。

《市民部》自治会の掲示板のスペースの有効活用を考え、関係機関への周知を図りたい。



【北川穰一市長】

物の価値観が大きく変わってきた時代の中で、自治会員の加入率の向上と共に目指しながら、自治会組織の活性化も大事である。

家庭、地域で連携・連帯が再認識されている今、粘り強く努力していきたい。

安全安心の活動の情報を、市の広報で市民の皆さんにお知らせすることは重要である。

今日は重要な課題を協議いただきました。一歩でも二歩でも『元気都市あきしま』を自治会の皆さんと共に築いていきましょう。

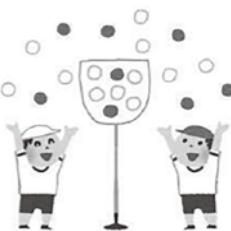
特集：拡げよう！「ごきんじょ(互近助)カード」

第62回昭島市民体育大会 「ブロック別運動会」

- ・9月に自治会の代表が参加し、体育大会開会式がKOTORIホールで開催。25種目の競技とは別に、自治会のブロック別運動会が10月に15会場(小中学校の校庭や体育館)にて行われました。
- ・各会場ごとに古典的な綱引き、玉入れ、リレーに加えて“防災”を取り入れた競技や抽選大会も登場していました。秋の晴天のもと、地域の皆さんと楽しく親睦を深めることができました。



第1ブロック：東小／玉入れ



第5・6ブロック：中神小／年代別リレー



お母さん達のうっぷんを
晴らす迫力の綱引き

第2ブロック：共成小



第7ブロック：成隣小／玉入れ

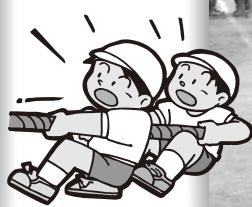


第3ブロック：玉川小／リレー



<防災訓練を意識した競技です>

第8・9・13ブロック：光華小



第4ブロック：富士見丘小／綱引き



第10ブロック：拝島第一小

特集：拡げよう！「ごきんじょ(互近助)カード」



第14ブロック：やまのかみ公園



第11ブロック：押島第三小／輪投げ



第15ブロック：武藏野小(体育館)



うまく車輪が進まない!!

第16ブロック：田中小



中身は何かなあ？

第12・13・18ブロック：押島第二小



今年は勝つ!!

第12・13・18ブロック：押島第二小



第17ブロック：つつじが丘南小／歩け歩け



第19・20ブロック：瑞雲中／大玉送り



「昭島チャレンジデー」に一緒に参加しましょう！

「チャレンジデー」とは、5月の最終水曜日に全世界で実施されている、市民参加型のスポーツイベントです。

多くの自治会が参加しています。今年は“5月25日”の予定で、当日15分以上の運動を行った方を報告します。

自分の健康のために、一緒に参加しませんか！

特集：拡げよう！「ごきんじょ(互近助)カード」

自治連役員で「防災公園の視察」と「草加市との交流」を実施

平成27年10月21日(水)、午前中に都の防災公園「水元公園」の視察、午後から埼玉県草加市町会連合会との交流を自治連役員と、昭島市生活コミュニティ課(事務局)で昭島市のバスを活用し実施してきました。



①大規模救出救助拠点「都立水元公園」(葛飾区)の視察

水元公園は、東京都地域防災計画における防災公園のなかでも「大規模救出救助活動拠点」となっている公園で、災害対応トイレ(右写真)や防災パーゴラ、かまどベンチなども園内の各所に設置されていました。今後、昭島市内の公園にも、震災時を想定した対策の災害対応用トイレ等の設備の設置が必要であると、痛感しました。

②草加市「町会・自治会への加入及び参加を促進する条例」の学習

～草加市町会連合会 & 草加市自治文化部みんなでまちづくり課との交流～

13時に埼玉県草加市に到着し早速、①草加市町会・自治会への加入及び参加を促進する条例について説明、②草加市と昭島市の“自治会への加入推進”の取組についてお互い紹介した後、意見交換を行いました。



草加市町会連合会役員の皆様と

主な内容は、加入促進のキャンペーンについて／会員の自治会活動に参加していただく為の工夫について／昔からの居住者と新しく引っ越ししてきた方との交流について／管理組合のマンションに対する扱いについて／高齢者の自治会員への配慮について／高い加入率の維持のポイントについて／加入促進マニュアル作成について／市と自治連との二人三脚の関係について／加入促進条例と自治会の関係性について／自治会長の活動が一番大事な訳について等、短時間でしたが多くの自治会活動について、お互いの取り組みの紹介やアドバイスがあり、今後の自治会連合会の運営について貴重な研修会となりました。

自治会長の皆様と“日の出の最終処分場”視察研修会を実施

平成27年7月7日(火)市役所からバス2台で市長の御見送りの中、自治会長の皆様と、昭島市をはじめ多摩地域25市1町の東京たま広域資源循環組合が運営している①日の出町ニッ塚廃棄物広域処分場、②東京たまエコセメント化施設、③日の出町谷戸沢廃棄物広域処分場の3カ所を視察してきました。



平成17年までは全量埋め立てていたものを、平成18年にエコセメント化施設が稼働し、現在焼却灰は全量がエコセメントにリサイクルされていました。



しかし破碎された不燃ごみは埋立てせざるを得ず、谷戸沢処分場は満杯となり、現在平成10年に開場したニッ塚処分場に埋め立てていました。エコセメント事業によりニッ塚処分場の埋め立て期間が当初予測の16年間から30年以上にまで延長できると試算しているとのことでした。

限りある最終処分場を有効利用していくため、地域で“ごみの分別と減量”と“資源回収”に取り組むことが大事であることを実感した研修会となりました。



自治連のホームページで情報発信中！



<http://www.akishima-jichiren.jp/>

- ・東日本大震災1ヵ月前の平成23年2月に開始し、自治連として510回、各自治会分を足すと投稿総数1,300回を超えていました。50周年記念誌や自治連会報、自治連だより、総会資料など最近のものは閲覧できます。
- ・自治連の活動やお知らせを随時投稿しています。
- ・皆様の自治会のブログも用意されており、各自治会の活動状況を掲載することができます。